

プラスチック燃焼ガスの評価

概要

プラスチックを燃焼させた場合に発生する有害成分をJIS K7217(プラスチック燃焼ガスの分析方法)に準拠した方法で評価を行う。

● 燃焼ガス捕集装置

- ① 支燃ガス供給部
- ② 燃焼部
- ③ 燃焼ガス捕集部
(代表例：テドラーバッグ)

[標準燃焼条件]

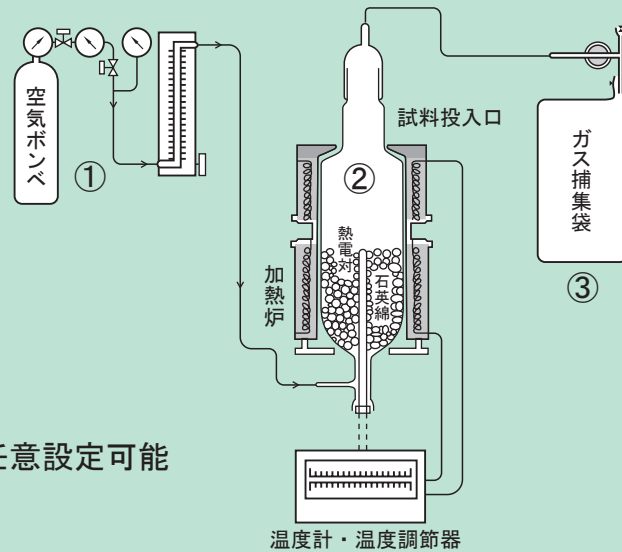
燃焼温度：750°C

空気流量：0.25 l/分

採取時間：7分

試料量：0.10 g

※燃焼温度は1000°Cまで任意設定可能



● 捕集成分の分析法

ガスクロマトグラフ法、イオンクロマトグラフ法、化学発光法、ICP-AES法などで測定

● 分析例(ポリウレタン：標準燃焼条件) (単位) 発生量mg/g

成分	発生量
一酸化炭素CO	173
二酸化炭素CO ₂	343
メタン	21
エチレン	57
ベンゼン	49
スチレン	45

成分	発生量
塩化物HCl	0.5
硫黄酸化物SO _x	0.1
窒素酸化物NO _x	0.8
硝酸HNO ₃	0.6
シアンHCN	126
アンモニアNH ₃	9.0

● 評価項目

- ① 炭化水素類(CO, CO₂含む21成分)
- ② イオン性成分(Cl⁻, NO_x, SO_x, CN⁻, NH₄⁺)
- ③ 重金属類(Cd, As, Pb, Hgなど)

これらのデータから環境への影響を推測することができる

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

お問合せ ☎03-5524-3851